

在宅勤務の「困った」、このように対応できます

パナソニックISの事例を交えながら、おすすめツールをご紹介します。是非お気軽にご相談ください。

在宅と言われても、
会社のデスクトップPCは持ち帰れない…



環境が整っていない人のサポートは？

お客さま環境サポートのアクセスツールとして利用している **Splashtop Business** がおすすめです。自宅のPCから社内のPC環境にアクセスできるツールです。

パナソニックISでは「HDD暗号化済みのノートPCを社内でも社外でも利用」あるいは「USB型シンクライアントを使い、社用・私用PCから社内のPC環境にアクセス」の2通りの方法でテレワークを行えるようにしています。

※こちらは事前準備を前提としています。

おすすめツール

Splashtop Business

契約から約3営業日で利用を開始できるリモートデスクトップツール。セキュアなテレワーク環境をすぐに整備できます。



対面で話せないと
コミュニケーションが取りにくい



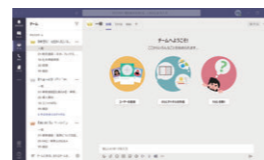
社内コミュニケーションツールの使い分けは？

パナソニックISでは、各会議室にビデオ会議システムを常設しており、Web会議とも連携させながら柔軟に会議を行ってききました。現在は **Microsoft Teams** が **Skype for Business** でのWeb会議がメイン。どちらもすぐ開始でき、Office 365の予定表に登録すれば日時指定も可能です。一方、対面の時間が減った分、Microsoft Teamsのチャットもよく活用するようになりました。雑談用チャンネルを作って気軽に話せるように工夫している部署もあります。

おすすめツール

Microsoft Teams

Web会議のほかチャットやファイル共有などが可能で、社内のあらゆる情報共有を完結できます。WordやExcelなどのOfficeツールとシームレスに連携できる点も特長です。



社内ネットワークに比べ、
自宅ネットワークは防御が手薄



セキュリティ対策はどうする？

オフィスで勤務している時、PCは社内ネットワークで何重にも守られています。自宅ネットワークのセキュリティは社内ネットワークに比べ劣る場合がほとんどです。そこでPC(エンドポイント)自身を守る **エンドポイントセキュリティ** が重要になります。

パナソニックISでは、「重要データにアクセスできるPCを限定する」などの対策もあわせて実施しています。

おすすめツール

Digital Guardian

データの重要度に応じた「タグ付け」により柔軟な操作制御ができるため、業務を妨げることなく重要データの漏えいを防止できます。



編集後記

新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、及び関係者の皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。20年以上前からテレワークの仕組みが整っていた当社ですが、それでも全員在宅勤務は初めてのことでした。離れていながらも、効率的な仕事の進め方を日々模索しています。当社でもテレワークに関する各種ソリューションをご提供しています。お悩みがあれば是非お気軽にご相談ください。

発行元

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社
ビジネス企画・管理部 ビジネス企画チーム

〒140-0002 東京都品川区東品川2-3-14 東京フロントテラス18F
TEL:03-5715-5470 FAX:03-5715-5471 <https://is-c.panasonic.co.jp/>

※本紙掲載記事の無断転載・複製を禁じます。
※本紙に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Panasonic

アイエスクローズアップ

IS CLOSE UP

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

2020.5
vol. 69

パナソニックISの

在宅勤務 実態調査



パナソニックISの 在宅勤務 実態調査



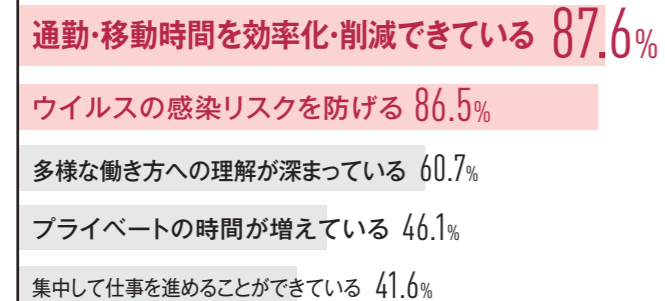
「原則、在宅勤務」で見えた課題

パナソニックISでは、新型コロナウイルスの感染対策として2020年2月下旬よりフレックス勤務・在宅勤務推奨などの対応を進めており、4月7日に緊急事態宣言が発令されてからは、全社員を対象に原則在宅勤務へ移行しました。どのように環境を整えたか、やってみて実際どのような課題が浮上したかなど、現場の声を拾いました。

調査概要 調査方法・対象者：パナソニックIS従業員のうち、パナソニックグループ外向け事業部門の社員を対象にWebアンケート方式で実施
調査期間：2020年4月17日～24日 有効回答数：89名

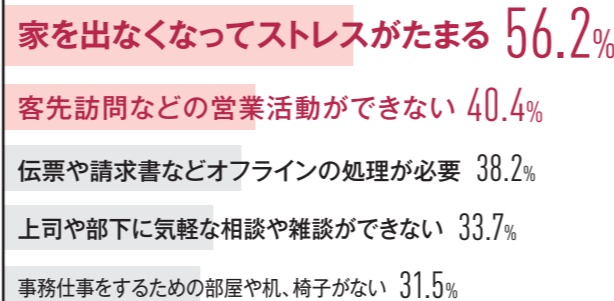
在宅勤務でよかったこと・ 難しいと感じること

■ 効果とメリット (複数回答)



8割以上の回答者が「通勤・移動時間を効率化・削減できている」「ウイルスの感染リスクを防げる」といった点をメリットと感じた一方で、外出できないストレスや普段通りに働けない難しさが課題として上がりました。

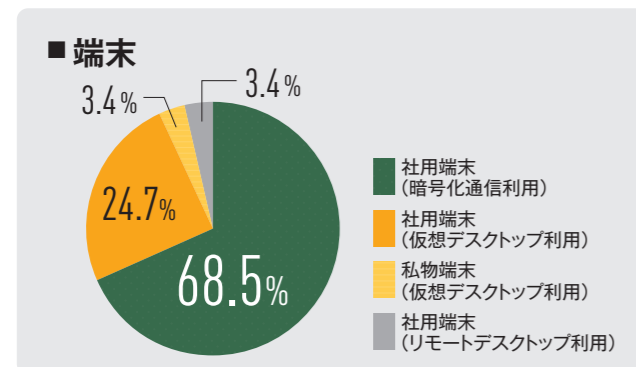
■ 難しいと思ったことやストレスに感じたこと (複数回答)



在宅勤務の 困りごと

1 環境はどうやって整えた？

もともとセキュアにテレワークできる環境が整っていたため、ほとんどの人は在宅勤務へスムーズに移行できました。今までテレワーク環境がなかった人にも、短期間で環境を整備しました。



セキュリティ

- ・ HDDの暗号化 ・ セキュリティパッチ ・ ウイルス対策
- ・ 暗号化通信または仮想デスクトップで社内アプリを利用

テレワーク環境が整っていない方への対応

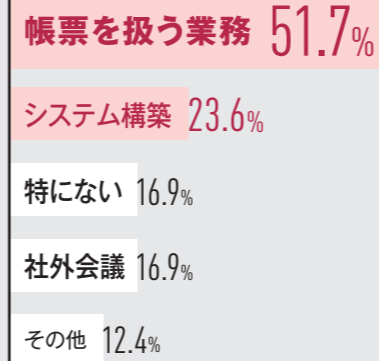
- ・ 社外の端末から、オフィスの端末に接続できる
リモートデスクトップ環境を整備。

在宅勤務の 困りごと

2 出社しないとできない業務はどう対応した？

半数の人が「帳票を扱う業務」は出社しないと対応できないと答えました。できるだけ電子化していますが、全部はできていない状況です。お客さまとの打ち合わせは、Web会議で行っているケースが多いようです。

■ 出社しないとできない業務 (複数回答)



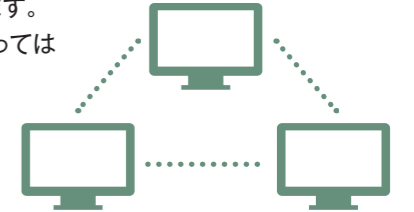
このように工夫しています

紙の書類の受け取り・提出

- ・ お客さまにご説明しご理解いただいた上で、基本PDFで対応しています。
- ・ 押印が必要なものは、チームで出社する人がいればその人がまとめて行っています。

お客さま訪問など、対面ありきの業務

- ・ 基本的にWeb会議になっています。
- ・ ただ、回線速度などの問題によってはコミュニケーションを取るのが難しいこともあります。

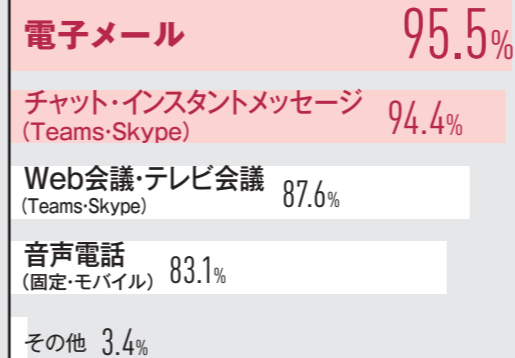


在宅勤務の 困りごと

3 コミュニケーションが難しい

メール、チャット、Web会議、電話を緊急度に応じて使い分けています。特に社内コミュニケーションでは、多くの人がMicrosoft Teamsをフル活用していました。会話不足を補う工夫も多く見られました。

■ 利用したコミュニケーションツール (複数回答)



このように工夫しています

コミュニケーション

- ・ Microsoft Teamsのチームをカテゴリごとに分類し、投稿内容が整理されるようにしています。
- ・ 顔が見えない分、雑談タイムを設け、体調やメンタルの変化がないか確認しています。
- ・ 困ったことがあった場合には、Web会議を活用し積極的に相談するようにしています。

業務の進捗管理

- ・ 業務開始、終了を連絡し、簡単に作業内容を共有しています。
- ・ Office 365の予定表に作業予定を記入しています。
- ・ 毎朝チームでWeb会議を行っています。

その他、こんな意見がありました

在宅勤務となり、顧客、業務優先視点で優先順位付けがされた結果、**各種ルールや手続きで、実は簡素化できるものがあることが分かってきた**。今回簡素化出来たものは、今後も同様の対応を継続することで、**効率化が期待でき、会社としてのコスト削減につながる**と思います。

社員の健康管理側面では、どのように実現できるか？が大事になるかと。動きがかなり少ないので。あと、仕事の成果に対する考えを変えないといけない。**時間で結果を測るのではない、成果物ベースの評価にしないといけない**、かと。

自分自身の**仕事の「質・速度」を見直す非常に良い機会**となりました。在宅勤務が云々より、今まで**「いかに無駄な時間」を費やしてたのかが強く認識**できました。

